

農繁期の休日保育

葵会（静岡県） 〒421-2103 静岡県静岡市俵沢109番地 TEL 054-294-0169

活動の概要

茶の収穫、田植えなどを中心とした5月、6月の農繁期に日曜、祝日も保育園を開所し休日保育を行っています。園児のみでなく地域の乳幼児や小学生も利用できるよう枠を広げ兼業農家の多い地域のニーズに合わせた支援を行っています。

法人の概要

農村地帯であり、兼業農家が多い地域に、当法人の運営する保育園は開設しました。自然に囲まれた素晴らしい環境にあり、3世代同居の家庭が多く子ども達は愛情を注がれて成長しています。

しかし両親は市街地へ働きに出掛け、祖父母が主になって農業を行っているので、家族は多くても日中子ども達を世話する大人がいない家庭がほとんどです。そこで地域より保育園への要望が高まり、法人を設立し、保育園を開きました。

- 経営施設数…1
- 法人全体の年間事業収入…81,000千円
- 主な経営施設
保育所 昭和43年設立 定員60名

実施施設の概要

- 施設名…賤機保育園
- 施設種別…保育所、定員60名

施設の運営方針

子どもたちが今を生き生きと活動し生活出来るよう職員が一体となり取り組んでいきます。

また福祉施設であり、乳幼児からお年寄りまでの幅広い要望に応えられるように保育園として出来る限りの工夫、努力をしています。

活動の内容

- 活動対象者…地域の乳幼児・小学生・園児
- 活動の頻度…5月、6月の日曜祝日12日程度
- 年間延利用者数…40名程度
- 活動開始年…平成6年

活動開始の背景（取り組みの経緯）

当保育園がある地域は農村地帯であるが、近年若い世代は市の中心へ勤めに出ており、普段の農作業は老人が一手に引き受けている状況の

1. 地域ニーズへの対応

(2) 個別ニーズに対応した柔軟なサービス提供

中で、最大の収入源である緑茶と米の収穫は休日に家族総出で行っています。

平日の延長保育では対応できない状態となり地域の要望から休日の保育を始めました。

■人材・資金面等での工夫、苦慮

独自の取り組みのため、特別な収入はないので保育園運営の一環として位置づけました。

職員は年間の休日カレンダーを作成し、出勤日として対応しています。

しかし、職員自身も兼業農家が多く、自分たちの農作業との調整が難しくなっています。

■利用者の声、地域の反応

休日保育を始めて10年が過ぎ、地域に定着してきたので入所園児だけでなく、時期になると地域の方々から保育の希望を出してくるようになりました。親戚一同もかり出されるので地元だけでなく学区外の小学生や乳幼児の利用も増えてきました。安心してお茶摘みや田植えに専念でき、作業がはかどると好評です。

活動の成果、地域の影響、今後の課題

開所当時は、園児だけが過ごす特別な施設として見られていたのが、休日保育や学童保育等諸事業を行ってきた為に、困ったときは利用できる施設として地域の方々の意識が変わってきました。地域からの要望に沿った活動をしてきましたが保育園の事業としてはこれ以上広げる事が難しい状況です。今後は法人として収支を考えながらもできるだけ活動をしていかなければなりません。その一環として、今年度に「地域交流室」として専用スペースを設け乳児からお年寄りまで様々な人が気軽に利用できる場を提供したいと計画しています。